

原始火おこし(ひもぎり式)

自然体験



ねらい

火を手に入れる困難さを知ります
仲間と協力する大切さに気がきます

対象

小学生から成人まで

人数

50名程度

時間

1時間～

場所

プレイホール

準備

火きり棒 火きり板 合板 麻布 麻紐 のこ 紐
ろうそく ろうそく立て 彫刻刀 ベニヤ板 ラン
プ 金属カップ 押さえ板

事前準備

- 5～6名程度の活動班を決めます。

実際の活動

● 用具の準備

- ・使用する用具を工作広場に運びます。
- ・火きり板を作ります。
のこぎりで、三角形の切り口を4か所程度入れ、「火種床」を作ります。
火種床の頂点部分に0.5～1cm程度の窪み（ホール）を、彫刻刀で作ります。
- ・麻紐を綿状になるまでほぐします。
- ・ベニヤ板の上に、合板、麻布、綿状になった麻紐、火きり板の順に乗せます。

● 火起こしの実際

- ・火きり板のくぼみに「火きり棒」の先端をあて垂直に立て、上から押さえ板で固定します。
- ・火きり棒に紐を2～3回程度巻きつけます。
- ・火きり板の両端をしっかり固定し、押さえ板は上から徐々に力を加え、紐は交互に引っ張ります。
この左右に紐を引っ張ることで火きり棒が回転します。
- ・交互にひっぱる運動を繰り返すと、次第に煙が出てきます。
この頃になると回転させるためにより強い力が必要になりますが、ペースを落とさず引っ張り、上から力を加え続けることが火を起こすためのコツです。
ホールが黒くこげて大きくなり過ぎた場合は、火がつきにくくなりますので、違うホールで行います。
- ・煙が強くなり、火種床に「黒い粉」がある程度たまったら回転を止めます。
- ・敷いた麻布で火種をつつみ、息を吹きかけると次第に赤くなって燃え始めたら成功です。
- ・燃えたら金属カップに置き、ろうそくに火をつけます。
下に敷いてあるベニヤ板の上で行ないます。

● 用具の後片付けと清掃

- ・使用した用具を工作室の所定の場所へしまいます。
- ・活動場所の清掃をしてください。

留意点

- 火種を扱うときは、必ず軍手をはめて行ってください。

アクティビティ(活動)の流れ

